

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2029年3月16日まで（2019年3月1日設定）	
運用方針	フランス国債7-10年ラダーマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてフランスの国債に投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。	
主要運用対象	ベビーフンド	フランス国債7-10年ラダーマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	フランスの国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p> </div>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 運用報告書（全体版）

## フランス国債7-10年ラダーファンド （為替ヘッジあり） （ラップ向け）



第7期（決算日：2022年9月20日）



### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「フランス国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジあり）（ラップ向け）」は、去る9月20日に第7期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

**本資料の表記にあたって**

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

**○最近5期の運用実績**

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率			
	円		円	%	%	%	百万円
3期(2020年9月17日)	10,668		0	3.5	93.0	—	1,009
4期(2021年3月17日)	10,562		0	△ 1.0	97.8	—	10
5期(2021年9月17日)	10,550		0	△ 0.1	96.4	—	5
6期(2022年3月17日)	9,943		0	△ 5.8	99.6	—	6
7期(2022年9月20日)	8,912		0	△10.4	99.1	—	1

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

**○当期中の基準価額と市況等の推移**

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落	率			
(期首) 2022年3月17日	円		%	%	%	%
	9,943		—	99.6	—	—
3月末	9,712		△ 2.3	98.4	—	—
4月末	9,575		△ 3.7	94.5	—	—
5月末	9,413		△ 5.3	97.5	—	—
6月末	9,047		△ 9.0	97.8	—	—
7月末	9,611		△ 3.3	93.5	—	—
8月末	9,073		△ 8.7	96.7	—	—
(期末) 2022年9月20日	8,912		△10.4	99.1	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第7期：2022年3月18日～2022年9月20日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第7期首	9,943円
第7期末	8,912円
既払分配金	0円
騰落率	-10.4%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ10.4%の下落となりました。

## ▶ 基準価額の変動要因

### 上昇要因

債券利子収入を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

### 下落要因

フランス長期金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第7期：2022年3月18日～2022年9月20日

## 投資環境について

### ▶ 欧州債券市況

**フランス長期金利は上昇しました。**

エネルギー価格の高止まりなどを背景に、ユーロ圏内でインフレ加速が見られ、欧州中央銀行（ECB）が利上げを実施したことなどが、フランス長期金利上昇の要因となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ フランス国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジあり）（ラップ向け）

フランス国債7-10年ラダーマザーファンド受益証券を通じてフランス国債に投資しました。

### ▶ フランス国債7-10年ラダーマザーファンド

残存期間が7年程度から10年程度までのフランス国債を主要投資対象とし、これらの債券の各残存期間ごとの投資金額が同額程度になるような運用を行いました。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第7期
	2022年3月18日～2022年9月20日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	505

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ フランス国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジあり）（ラップ向け）

フランス国債7-10年ラダーマザーファンド受益証券を高位に組み入れ、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

### ▶ フランス国債7-10年ラダーマザーファンド

フランスの国債を主要投資対象とし、原則として、残存期間が7年程度から10年程度までのフランス国債に投資し、各残存期間ごとの投資金額が同程度になるような運用を目指します。また、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る方針です。

2022年3月18日～2022年9月20日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	19	0.203	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(15)	(0.158)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(3)	(0.028)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.017)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.010	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.009)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	20	0.213	

期中の平均基準価額は、9,355円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

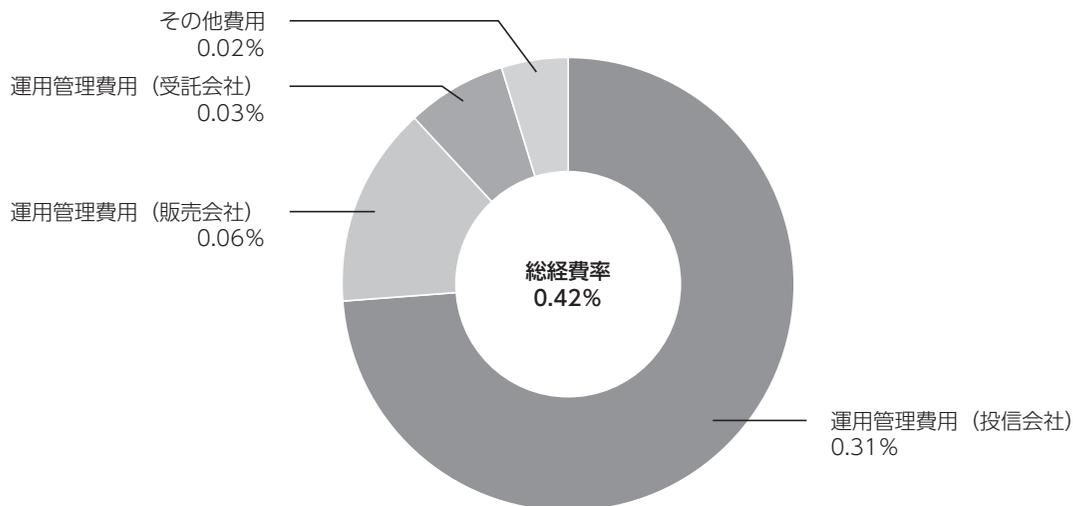
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.42%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年3月18日～2022年9月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
フランス国債7-10年ラダーマザーファンド	千口 15	千円 15	千口 4,333	千円 4,412

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月18日～2022年9月20日)

利害関係人との取引状況

<フランス国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジあり）（ラップ向け）>  
該当事項はございません。

<フランス国債7-10年ラダーマザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	2,261	—	—	2,718	137	5.0

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年3月18日～2022年9月20日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 0.960615	百万円 —	百万円 —	百万円 0.960615	商品性を適正に維持するための取得

○組入資産の明細

(2022年9月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
フランス国債7-10年ラダーマザーファンド	千口 6,144	千口 1,825	千円 1,761

○投資信託財産の構成

(2022年9月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
フランス国債7-10年ラダーマザーファンド	千円 1,761	% 99.3
コール・ローン等、その他	12	0.7
投資信託財産総額	1,773	100.0

(注) フランス国債7-10年ラダーマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（21,811,076千円）の投資信託財産総額（22,322,034千円）に対する比率は97.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ユーロ=143.77円			
---------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年9月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,773,496
コール・ローン等	12,267
フランス国債7-10年ラダーマザーファンド(評価額)	1,761,202
未収入金	27
(B) 負債	7,944
未払信託報酬	7,923
その他未払費用	21
(C) 純資産総額(A－B)	1,765,552
元本	1,981,137
次期繰越損益金	△ 215,585
(D) 受益権総口数	1,981,137口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,912円

<注記事項>

- ①期首元本額 6,655,329円  
 期中追加設定元本額 0円  
 期中一部解約元本額 4,674,192円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8912円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は215,585円です。

③分配金の計算過程

項 目	2022年3月18日～ 2022年9月20日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	37,974円
分配準備積立金額	62,174円
当ファンドの分配対象収益額	100,148円
1万口当たり収益分配対象額	505円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

○損益の状況（2022年3月18日～2022年9月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△196,383
売買益	149,739
売買損	△346,122
(B) 信託報酬等	△ 7,944
(C) 当期損益金(A+B)	△204,327
(D) 前期繰越損益金	△ 76,947
(E) 追加信託差損益金	65,689
(配当等相当額)	( 37,974)
(売買損益相当額)	( 27,715)
(F) 計(C+D+E)	△215,585
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△215,585
追加信託差損益金	65,689
(配当等相当額)	( 37,974)
(売買損益相当額)	( 27,715)
分配準備積立金	62,174
繰越損益金	△343,448

- (注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## フランス国債7-10年ラダーマザーファンド

### 《第11期》決算日2022年9月20日

[計算期間：2022年3月18日～2022年9月20日]

「フランス国債7-10年ラダーマザーファンド」は、9月20日に第11期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行います。
主要運用対象	フランスの国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰	中落率			
7期(2020年9月17日)	円 11,474		% 3.7	% 93.2	% —	百万円 22,918
8期(2021年3月17日)	11,374	△	0.9	98.0	—	20,751
9期(2021年9月17日)	11,384		0.1	96.6	—	25,310
10期(2022年3月17日)	10,744	△	5.6	99.9	—	22,503
11期(2022年9月20日)	9,647	△	10.2	99.3	—	21,444

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券先物比率
		騰	落率			
(期首) 2022年3月17日	円 10,744		% —	% 99.9	% —	% —
3月末	10,495	△	2.3	98.7	—	—
4月末	10,350	△	3.7	94.8	—	—
5月末	10,179	△	5.3	97.7	—	—
6月末	9,785	△	8.9	98.0	—	—
7月末	10,400	△	3.2	93.7	—	—
8月末	9,820	△	8.6	96.9	—	—
(期末) 2022年9月20日	9,647	△	10.2	99.3	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ10.2%の下落となりました。

基準価額等の推移



## ●基準価額の変動要因

## (上昇要因)

債券利子収入を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

## (下落要因)

フランス長期金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎欧州債券市場

- ・フランス長期金利は上昇しました。
- ・エネルギー価格の高止まりなどを背景に、ユーロ圏内でインフレ加速が見られ、欧州中央銀行（ECB）が利上げを実施したことなどが、フランス長期金利上昇の要因となりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・残存期間が7年程度から10年程度までのフランス国債を主要投資対象とし、これらの債券の各残存期間ごとの投資金額が同額程度になるような運用を行いました。
- ・組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

## ○今後の運用方針

- ・フランスの国債を主要投資対象とし、原則として、残存期間が7年程度から10年程度までのフランス国債に投資し、各残存期間ごとの投資金額が同程度になるような運用を目指します。また、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2022年3月18日～2022年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	1	0.011	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( そ の 他 )	(1)	(0.011)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	(0)	(0.000)	
合 計	1	0.011	
期中の平均基準価額は、10,118円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年3月18日～2022年9月20日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	フランス	国債証券	43,908	48,709

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年3月18日～2022年9月20日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 48,468	百万円 23,319	48.1	百万円 45,729	百万円 22,897	50.1
為替直物取引	2,261	—	—	2,718	137	5.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2022年9月20日現在)

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
フランス	168,430	148,122	21,295,531	99.3	—	99.3	—	—
合 計	168,430	148,122	21,295,531	99.3	—	99.3	—	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ		%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
フランス	国債証券	0 O.A.T 291125	—	28,620	24,718	3,553,794	2029/11/25
		0 O.A.T 301125	—	29,310	24,693	3,550,163	2030/11/25
		0 O.A.T 311125	—	30,200	24,767	3,560,832	2031/11/25
		0 O.A.T 320525	—	30,740	24,768	3,560,937	2032/5/25
		1.5 O.A.T 310525	1.5	25,790	24,604	3,537,409	2031/5/25
		2.5 O.A.T 300525	2.5	23,770	24,569	3,532,395	2030/5/25
合 計						21,295,531	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2022年9月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 21,295,531	% 95.4
コール・ローン等、その他	1,026,503	4.6
投資信託財産総額	22,322,034	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(21,811,076千円)の投資信託財産総額(22,322,034千円)に対する比率は97.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1ユーロ=143.77円		
--------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	43,250,173,996
コール・ローン等	979,439,203
公社債(評価額)	21,295,531,999
未収入金	20,929,602,893
未収利息	42,690,626
前払費用	2,909,275
(B) 負債	21,805,425,954
未払金	21,728,299,429
未払解約金	77,125,622
未払利息	903
(C) 純資産総額(A-B)	21,444,748,042
元本	22,229,838,595
次期繰越損益金	△ 785,090,553
(D) 受益権総口数	22,229,838,595口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,647円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 20,944,355,337円  
 期中追加設定元本額 2,492,142,377円  
 期中一部解約元本額 1,206,659,119円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9647円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

MUKAM フランス国債7-10年ラダーオープン(為替ヘッジあり)(適格機関投資家転売制限付)	7,708,109,047円
MUKAM フランス国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)2019-01(適格機関投資家限定)	3,754,055,071円
MUKAM フランス国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)2018-07(適格機関投資家限定)	3,667,774,783円
MUKAM フランス国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)2018-11(適格機関投資家限定)	2,752,311,334円
MUKAM フランス国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)2018-06(適格機関投資家限定)	1,928,929,821円
国内債券セレクション(ラップ向け)	1,028,154,067円
MUKAM フランス国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)2019-05(適格機関投資家限定)	891,522,201円
MUKAM フランス国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)2018-10(適格機関投資家限定)	462,521,696円
アドバンスト・バランスⅡ(FOFs用)(適格機関投資家限定)	19,455,963円
アドバンスト・バランスⅠ(FOFs用)(適格機関投資家限定)	15,178,964円
フランス国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)(ラップ向け)	1,825,648円
合計	22,229,838,595円

- ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は785,090,553円です。

## ○損益の状況 (2022年3月18日~2022年9月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	73,599,929
受取利息	74,326,174
支払利息	△ 726,245
(B) 有価証券売買損益	△2,461,210,842
売買益	3,286,237,471
売買損	△5,747,448,313
(C) 保管費用等	△ 2,375,151
(D) 当期損益金(A+B+C)	△2,389,986,064
(E) 前期繰越損益金	1,558,687,672
(F) 追加信託差損益金	21,134,634
(G) 解約差損益金	25,073,205
(H) 計(D+E+F+G)	△ 785,090,553
次期繰越損益金(H)	△ 785,090,553

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。